

# 2019 参院選 比例7氏全員勝利を 候補者を発表 東海は井上氏



志位和夫委員長は27日、2019年参院選の比例代表予定候補(第1次)7氏を発表しました。井上哲士参院国対委員長が、前回に続いて、東海、北陸信越、京都府を主な活動地域にします。

井上哲士(59)＝現＝3期

「憲法と命輝く日本を」を掲げて初当選以来3期16年半。広島で育った被爆2世として核兵器も原発もなくそうと訴え続け、今年は国連本部で核兵器禁止条約の採択の場に立ち会うことができました。

党の参院国対委員長を13年半務め、4年半前の参院選で11議席に躍進してからは、院内交渉会派となり、本会議の登壇数も大幅に増えました。獲得した議案提案権を使ってさっそくブラック企業根絶法案を提出しました。この躍進がその後の市民と野党の共闘を広げる大きな力になりました。

一緒に改憲・暴走の安倍政権をやめさせ、憲法を活かす新しい政治を実現しましょう。

## リニア工事中止、談合疑惑解明 党愛 知県委が運輸局に求める 本村議員同席

リニア中央新幹線工事をめぐり大手ゼネコンの談合疑惑事件を受け、党愛知県委員会は27日、国土交通省中部運輸局(名古屋)に対し、疑惑の全容解明とリニア工事の中止を要請しました。

本村伸子衆院議員、すやま初美参院選挙区予定候補、わしの恵子県議、江上ひろゆき、青木ともこ、藤井ひろき名古屋市議らが参加しました。

現在、大手ゼネコン4社は談合の疑いで捜査を受けていますが、疑惑の発端となった名古屋市の名城非常口工事をはじめリニア工事はそのまま続けられています。県委員会は▼談合疑惑の全容を徹底解明する責任を果たす▼JR東海に対して全容が明らかになるまで工事中止を求めることを要請しました。



中部運輸局の担当者は「捜査中であり見守っていくとの立場だが、権限はある。要請内容はしっかり本省に伝える」と応えました。●：岐阜県でも同日、リニア問題を考える岐阜県民ネットワーク、リニア問題を考える恵那市民の会、東濃リニアを考える会などが、JR東海岐阜県事務所、岐阜県リニア事務所、恵那市長、中津川市長を訪問し、

疑惑の徹底究明と工事の一旦中止・再検討を求める要請書を提出しました。水野功也、野田市議も同行しました。

### 1月21日告示、28日投票の津市議選、岐阜市長選、同市議補選で勝利を

【予定候補者】

津市議選(定数34、2減) 藤本ともこ(56)、現、長谷川ゆきこ(66)、現、たき勝弘(まさひろ)(46)、新、竹下さちこ(63)、新

岐阜市長選 森下ますみ(56)、新、無所属、革新市政の会推薦、元党岐阜市議(1期)

岐阜市議補選 やまこしとおる(47)、新

●津市演説会 1月8日(月、祝)13時、津駅東口 小池晃書記局長、4人の市議候補、井上哲士参院議員、中川民英参院選挙区候補(津市議)、岡野恵美県議(津市区)も参加。

●岐阜市演説会 1月12日(金)18:30 岐阜市文化センター小劇場 武田良介参院議員が応援

### 前回市議選時回復へ 対話、党勢拡大に

三重県中部地区の駅西支部は、津市議選勝利へ前回読者陣地の回復をめざして奮闘。24日は「しんぶん赤旗」日刊紙を3部、日曜版を2部拡大して、日刊紙の前回時を突破しました。

この日は、訪問する人を準備して、大嶽県委員長と支部委員3人が行動しました。

演説会で弁士をしていただいた方々の実家を訪ねると、市の保育について話題になり、日刊紙を購読していただきた。別の若い教員の方には教職員出身の竹下さちこ候補の支持をお願いし、日曜版を購読していただきました。ほかにも支部委員のMさんの同僚の方を訪問したところ、留守だったので伝言をお願いすると、後で、わざわざMさんを訪ねて日曜版購読の返事をいただきました。